

令和7年度 第3回 運営会議ニュース

日 時	令和7年9月14日(日) 13:30~15:10
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター(レクチャールーム)
出 席 者	15名

～議題～

各ゾーンエリアの管理について(各団体等からの報告事項)

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

- ・7月20日: 参加者11名 「夏の林縁を観察しよう」をテーマに行った。

林縁では様々な植物が育ちやすく、風や光を遮り温度湿度を保ち、生き物たちのオアシスでもある。野鳥たちの生息状況を確認しました。ミソハギ、ヤブミョウガ、ジャノヒゲ、ハエドクソウなどの特徴を観察。またジョロウグモの網の構造やクサギの特徴についても観察しました。

- ・8月17日: 参加者6名。「森林トレイルセラピー」を計画し観察会を行った。まずは野鳥の原っぱへ行きオオバコの特徴や種の性質について学び、種が粘液を生成して運ばれる仕組みを実験で確認した。また百葉箱や三峰神社の歴史、園内で多く見られるコナラ、クヌギ、シラカシなど、どんぐりの種類について説明を行った。

●ふるさとフォーラム座間

- ・立野台公園に「座間の森」の株分けを行った。
- ・9/14、21ホタルの水路周りの草刈りを早朝に行った。
- ・9/20菖蒲田の土の手入れを行う。
- ・7月にコスモス畠の耕耘を三度行い、播種した。水やりを欠かさず行い咲き始めている。

●座間のホタルを守る会

- ・8/12ホタルの水路周りの草刈りを行った。シート3枚分の草刈りは大変だった。
- ・今後、花しょうぶ田、コスモス畠、南水路斜面、夏の草刈りを公園スタッフにお願いしたい。

●谷戸山ボランティア

- ・公園で本堂坂のセンニンソウや伝説の丘ティカカズラを切斷した。園内には木本のキズタ、ヤマフジ、イワガラミ等、草本のカラスウリや、ヤブガラシなど多数の里山のツル植物が自生しているので注意してほしい。湿生・休耕田のカナムグラ、野鳥の原っぱ上のクズは適宜刈ってほしいが、自然観察会で見ているのは残してほしい。
- ・今夏の水不足でわき水の谷の池や、ザリガニ池、田んぼの日照りが心配だったが、最近の雨量のおかげで多少水位が保たれている。
- ・野鳥の原っぱの草刈りを暑い時期にしていただき、メハジキに多数の昆虫がやってきた。
- ・田んぼの南水路でナンバンギセル、東のアマホトトギスが開花した。
- ・リスアカネやオナガサナエを観察した。

●ネイチャーゲーム

- ・9/27ふれあい広場でネイチャーゲームを開催予定。テーマは「小さな世界を楽しもう」
- アリの目線になり人間の大きさを体験してみる。

その他

●県厚木土木事務所東部センター

- ・9/16より園路舗装工事と、テニスコート上の金網柵の工事を開始。
- ・前年度より行っていたナラ枯伐採・運搬処分と測量が終了した。
- ・今年度のナラ枯伐採予定。

(会長) オオタ力に配慮した伐採を行ってほしい。

●公園

- ・前回配布した伐採・枝下ろし対象木調査票について、対象木を公園で伐採したため修正し配布した。
- ・ティカカズラを誤って切断してしまったことに関してお詫びし、今後の対応として除草作業のエリアの確認の徹底と間伐・除伐作業の見直し、ボランティア活動への参加、研修等の改善策の説明を行った。

次回開催日時

11月9日（日）13:30～15:00

※進捗状況や最新情報も必要に応じて記載しています。※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所まで。